

## 外国語学部 外国語学科

### ディプロマ・ポリシー

#### 1. 卒業要件

以下の修得する能力を身に付け、専攻科目から 80 単位以上、共通科目から 16 単位以上、専攻科目、関連科目及び共通科目から 28 単位以上、合計 124 単位以上を修得し、本学学則に定める在学期間を満たす者へ学士（外国語学）の学位を授与する。

#### 2. 修得する能力

- (1) 外国語学を学ぶ目的及び外国語学を構成する学問体系と基本的な学び方について理解しているとともに、生涯にわたり知識を更新し、自らの資質を向上させる学習態度を身に付けている。
- (2) 外国語による言語活動に関する能力を習得しているとともに、個別領域のみならず複合領域にわたって積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
- (3) 外国語の仕組みと言葉の意味や働きなどの語学的な知識と実践的な運用能力を習得するとともに文学的教養を培い、言語の背景にある多様な文化や社会に関する広い知識を身に付けている。
- (4) 様々なジャンルや話題に関する事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、目的に応じて議論を行う言語運用能力を身に付けている。
- (5) 外国語学分野に関する研究活動に必要となる基礎的な研究方法及び外国語学に関する専門的知識や研究方法を活用し、自ら課題を解決することのできる創造性を身に付けている。

#### 3. 卒業後の進路

観光・旅行、航空・運輸、商社・貿易など、言語や文化が異なる人々との対話や交流が求められる各種産業をはじめ、通訳・翻訳、中学校・高等学校教諭、日本語学校教員など、外国語に関する専門的な知識や能力が求められる職種に携わることが期待される。

### カリキュラム・ポリシー

#### 1. 体系（構成）

- (1) 教育研究の対象とする学問分野の理解のもと、大学での学習を遂行するための基本的知識と技術及び卒業後も自律・自立して学習できる生涯学習力を身に付けるための科目を配置する。
- (2) 外国語による「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の習得及び4つの領域の言語活

動を有機的に関連付けつつ総合的な言語運用能力を身に付けるための科目を配置する。

- (3) 外国語が持つ言語の特徴等を理論的に理解するとともに、英語圏やフランス語圏の事情や文学・文化・社会に関する知識の習得と異なる文化に対する理解を深めるための科目を配置する。
- (4) 国際社会に関する多様な情報を収集し複眼的に分析し、適切に判断して、自らの考えや意見などを形成して発信することができる能力を身に付けるための科目を配置する。
- (5) 外国語に関する文献講読や資料分析及び調査方法や分析手法などの能力の習得とともに、自らが立てた課題にそれらを適用し解決する能力を身に付けるための科目を配置する。

## 2. 特色

- (1) 学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採り、知識や技能を実践に応用する能力の習得を目的とする教育内容は、演習形式及び実習形式による授業形態を採る。
- (2) 教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等をはじめとする教授方法を取り入れることにより、学生の能動的学修への参加を促す。
- (3) 教育課程を構成する授業科目の目標、内容、方法、評価を記した授業計画を示すとともに、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有するための教育課程構造図や履修系統図を示す。
- (4) 単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避けるとともに、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。
- (5) 卒業時における質を確保する観点から、予め学生に対して各授業科目における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を示し、これに基づく厳格な評価を行う。

## 3. 具体的な教育内容

### 〔導入科目〕

「導入科目」は、教育研究の対象とする学問分野の理解のもと、大学での学習を遂行するための基本的知識と技術及び卒業後も自律して学習できる生涯学習力を身に付けるための科目として、2科目4単位を必修科目として配置する。

### 〔スキル科目〕

「スキル科目」は、外国語による「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の習得及び4つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的な言語運用能力を身に付けるための科目として、4科目16単位を必修科目として配置し、20科目40単位を選択科目として配置する。

#### 〔専門基礎科目〕

「専門基礎科目」は、外国語が持つ言語の特徴等を理論的に理解するための科目として、14科目28単位を選択科目として配置する。

#### 〔専門展開科目〕

「専門展開科目」は、英語圏やフランス語圏の事情や文学・文化・社会に関する知識の習得と異なる文化に対する理解を深めるための科目として、46科目104単位を選択科目として配置する。

#### 〔演習・卒業論文部門〕

「演習・卒業論文部門」は、外国語に関する文献講読や資料分析及び調査方法や分析手法などの能力の習得とともに、自らが立てた課題にそれらを適用し解決する能力を身に付けるための科目として、1科目4単位を必修科目として配置し、2科目8単位を選択科目として配置する。

## アドミッション・ポリシー

### 1. 求める学生像

外国語学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 外国語分野に対する強い興味と関心を持ち、学部教育に対する高い学習意欲を有している者。
- (2) 高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基礎知識が定着している者。
- (3) 自分の考えを口頭や文章により適切に表現し、他者に対して的確に伝えることができる者。
- (4) 多様な言語・文化・価値観を有する人々と協働して自主的に学ぶことができる者。

### 2. 選抜方法

外国語学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜（一般入試、英語4技能利用型一般入試、大学入学共通テスト利用入試（前期・後期）、一般・共通テスト併用型入試）

高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価する。また、一般入試では英語の配点比率を高くし、外国語学科において専門知識を習得するための英語力を有しているかどうかも含めて判定する。

- (2) 総合型選抜（総合型入試）

総合型入試では、出願時の活動歴・志望理由・学修計画について論述した書類等により書類選考を行ったうえで、講義に基づく筆記試験を課し、学修計画に関するプレゼンテーションとその内容についてのグループによる質疑・ディスカッションを行い、書類選考を含めて、受験者の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協調性を総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜（指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試）

学校推薦型選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

(4) その他の選抜（外国人入試、帰国生入試、国際バカロレア入試）

多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

国際バカロレア入試では、受験者に面接を課し、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。